

都市再生整備計画 事後評価シート
垂井町中心市街地地区

令和5年2月

岐阜県不破郡垂井町

様式2-1 評価結果のまとめ

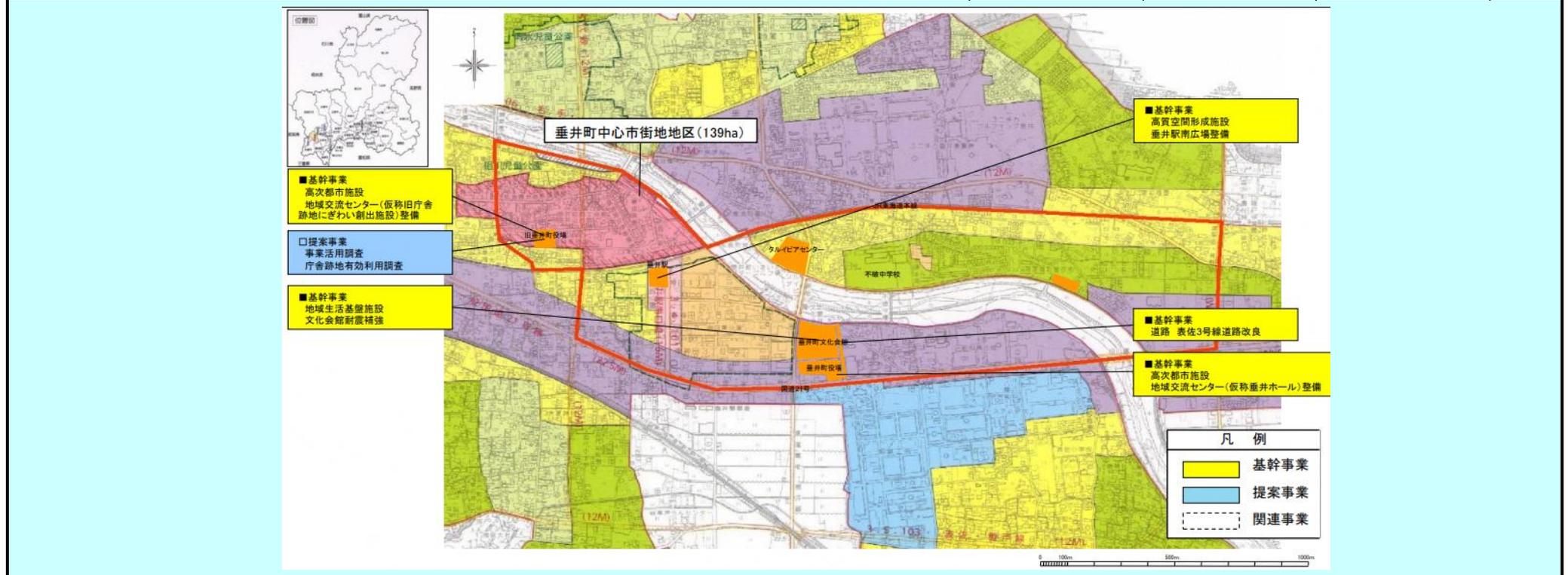
都道府県名	岐阜県	市町村名	垂井町	地区名	垂井町中心市街地地区		面積	139ha
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度2月	交付対象事業費	773百万円	国費率	0.4	
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(表佐3号線道路改良、垂井駅アクセス歩道新設)、公園(綾戸児童公園整備)、地域生活基盤施設(文化会館周辺等広場・公園整備、垂井駅南北広場整備、文化会館駐車場整備、文化会館駐輪場整備、文化会館耐震補強)高質空間形成施設(文化会館多目的トイレ整備)、高次都市施設(地域交流センター(仮称垂井ホール)整備)					
		提案事業	地域創造支援事業(公衆無線LAN整備、垂井駅自由通路橋内部改修)、事業活用調査(庁舎跡地有効利用調査、事業効果分析調査)					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
			道路(垂井駅アクセス歩道新設)		土地所有者との交渉の結果、所有者が現在行っている施設整備に合わせ、自ら歩道整備を行うとのことであるため。		影響なし	
			公園(綾戸児童公園整備)		都市再生整備計画第1回変更で追加した、垂井町における重要事業である「地域交流センター(仮称旧庁舎跡地にぎわい創出施設)整備」を優先的に行うにあたり、本町の財政状況を考慮し事業実施時期の再検討を行った結果、本計画期間内に行うことが困難となったため。		居住人口の指標に関係するが、他の要因で人口が変動する可能性もあるため、指標及び数値目標は据え置く。	
			地域生活基盤施設(文化会館周辺等広場・公園整備)		本町の財政状況を考慮し、必要最低限である南広場の点字ブロック整備とするため、本事業を削除し、新たな基幹事業である高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)に垂井駅南広場整備を追加する。		公益施設利用者数の指標に関係するが、「垂井町庁舎跡地等活用整備」にて文化会館整備と同等の公益施設整備を行うことにより、指標及び数値目標は据え置く。	
			地域生活基盤施設(垂井駅南北広場整備)		本町の財政状況を考慮し、必要最低限である南広場の点字ブロック整備とするため、本事業を削除し、新たな基幹事業である高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)に垂井駅南広場整備を追加する。		駅利用者数の指標に関係するが、指標及び数値目標は据え置く。	
			地域生活基盤施設(文化会館駐車場整備)		都市再生整備計画第1回変更で追加した、垂井町における重要事業である「地域交流センター(仮称旧庁舎跡地にぎわい創出施設)整備」を優先的に行うにあたり、本町の財政状況を考慮し事業実施時期の再検討を行った結果、本計画期間内に行うことが困難となったため。		公益施設利用者数の指標に関係するが、「垂井町庁舎跡地等活用整備」にて文化会館整備と同等の公益施設整備を行うことにより、指標及び数値目標は据え置く。	
			地域生活基盤施設(文化会館駐輪場整備)		都市再生整備計画第1回変更で追加した、垂井町における重要事業である「地域交流センター(仮称旧庁舎跡地にぎわい創出施設)整備」を優先的に行うにあたり、本町の財政状況を考慮し事業実施時期の再検討を行った結果、本計画期間内に行うことが困難となったため。		公益施設利用者数の指標に関係するが、「垂井町庁舎跡地等活用整備」にて文化会館整備と同等の公益施設整備を行うことにより、指標及び数値目標は据え置く。	
		高質空間形成施設(文化会館多目的トイレ整備)		都市再生整備計画第1回変更で追加した、垂井町における重要事業である「地域交流センター(仮称旧庁舎跡地にぎわい創出施設)整備」を優先的に行うにあたり、本町の財政状況を考慮し事業実施時期の再検討を行った結果、本計画期間内に行うことが困難となったため。		公益施設利用者数の指標に関係するが、「垂井町庁舎跡地等活用整備」にて文化会館整備と同等の公益施設整備を行うことにより、指標及び数値目標は据え置く。		
		提案事業	地域創造支援事業(公衆無線LAN整備)		他手法により、無償で無線LANを導入することが可能であることが判明したため。		影響なし	
			地域創造支援事業(垂井駅自由通路橋内部改修)		都市再生整備計画第1回変更で追加した、垂井町における重要事業である「地域交流センター(仮称旧庁舎跡地にぎわい創出施設)整備」を優先的に行うにあたり、本町の財政状況を考慮し事業実施時期の再検討を行った結果、本計画期間内に行うことが困難となったため。		駅利用者数の指標に関係するが、下げ止まりを目標値としており、また垂井町庁舎跡地等活用整備により垂井駅の近くに公共性の高い施設を建築することにより、指標及び数値目標は据え置く。	
	高質空間形成施設(垂井駅南広場整備)		都市再生整備計画第2回変更にて、本町の財政状況を考慮し、必要最低限である南広場の点字ブロック整備とするため、地域生活基盤施設(垂井駅南北広場整備)を削除し、本事業を追加。		影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(垂井駅南広場整備)		都市再生整備計画第2回変更にて、本町の財政状況を考慮し、必要最低限である南広場の点字ブロック整備とするため、地域生活基盤施設(垂井駅南北広場整備)を削除し、本事業を追加。		影響なし	
			高次都市施設(地域交流センター(仮称旧庁舎跡地にぎわい創出施設)整備)		庁舎跡地の整備については、本年度策定される垂井町都市計画マスタープランにおいて、重点戦略の一つとして「旧庁舎跡地の利活用による、交流拠点づくり」が掲げられている。また、庁舎の移転建替えの際には「庁舎跡地は中心部の活性化に有効に活用することが前提」とされており、先に着手された新庁舎整備と並び重要事業とされていたが、本整備計画当初においては、まだまだ不透明な部分が多かったため、事業の計上を行うことができなかった。その後、事業活用調査で行った「庁舎跡地有効利用調査」を基に、令和2年3月に町民ワークショップなど各意見が集約された「庁舎跡地等活用基本計画」が策定されたことにより、方針とスケジュールが提示された。(R3:基本設計・実施設計、R4:建築工事着手、R5:新施設オープン)これにより、重要事業である庁舎跡地の整備を本整備計画期間にて実施することとなったため。		影響なし	
提案事業		-		-		-		
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		
	変更	-		-		-		

	指標			従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	指標2	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
2)都市再生整備計画に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標1	居住人口	人	4,501	H30	4,500	R4		4,395	△	あり なし ●	公益施設の整備、駅前広場のバリアフリー化などを行ったが、十分な効果が発現せず、目標を達成することはできなかった。ただし、人口の減少傾向が緩やかになっていることは評価できる。	—	
	指標2	公益施設利用者数	人/年	241,827	H30	249,000	R4		126,344	△	あり なし ●	新型コロナウイルス感染症拡大による外出規制などの影響が大きく、目標を達成することができなかったが、地域交流センターの整備をはじめとした事業の実施により、公益施設利用者数の増加が図られた。	—	
	指標3	駅の一日常平均利用者数	人	2,642	H30	2,544	R4		1,869	△	あり なし ●	新型コロナウイルス感染症拡大による外出規制などの影響が大きく、目標を達成することができなかったが、バリアフリー化や、駅から公益施設へのアクセス性向上などにより、駅利用者数の増加が図られた。	—	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標			従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	指標2	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	あり なし	—	—
その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	あり なし	—	—	
4)定性的な効果 発現状況	—													
5)実施過程の評価			実施内容					実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		—					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
	住民参加 プロセス		垂井町現庁舎敷地等活用基本構想(案)に関するパブリック・コメント (意見公募)					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● いただいた意見を参考に、できるだけ利用者の意向が反映されるよう旧庁舎の活用方法について検討を進める。		
持続的なまちづくり 体制の構築		—					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			

様式2-2 地区の概要

垂井町中心市街地地区 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
都市機能を集約した快適で安全・安心なまちづくり 目標1: 都市基盤の整備によるコンパクトシティの実現 目標2: 防災機能の充実による災害に強いまちづくり 目標3: 地域交流センターや公園・広場等の整備により地域住民の交流とやすらぎの空間を創出	居住人口	人	4,501	H30	4,500	R4	4,395	R4
	公益施設利用者数	人/年	241,827	H30	249,000	R4	126,344	R4
	駅の一日常利用者数	人	2,642	H30	2,544	R4	1,869	R4



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・公益施設のさらなる利便性の向上や、都市機能と生活利便施設がより密接したコンパクトなまちづくりの推進 ・生活様式の変化に合わせた公益施設の有効的な活用や、PR活動などによる地域活力の向上 ・駅南広場だけでなく、周辺全体にわたって、誰もが快適に利用できる良質空間の形成
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の快適な利用と地域活力向上のため、本計画では対象となっていない施設も含め、都市機能の集約化を図りコンパクトなまちづくりを推進する。 ・旧庁舎の確実な整備の推進、耐震補強等修繕を行った施設の快適な利用、サービス提供に向けた維持管理を行う。 ・整備した施設について、地域住民の利活用を推進するための活動や、有効的な活用方法について検討する。 ・都市機能の利便性向上などにより、居住人口の維持・向上を図り、地域活力の向上を図る。